



移乗が出来ることで見つける、始まる、新たな生きがい！

ご利用者の目標設定に悩まれていますか？
今回から理学療法士がご利用者の生活動作についてどのように「**評価**」、「**目標設定**」を行っているかご紹介したいと思います。
まずは「**移乗**」についてお伝えします！
移乗が行えることで、ご利用者の生活の幅も広がり、**QOLの向上**に繋がります。



1. 評価

まず移乗動作を実際に動作観察します。
大きくは**自立・見守り・介助**。この3つに分けられます。
今回、理学療法士がどのように評価を行っているのかをご紹介させていただきます。

1. 移乗の手順を理解する
2. ブレーキ、フットレスト操作が行える
3. 手すりを把持することができる
4. 立ち上がり動作が安全に行える
5. 安全に着座動作が行える
6. 安定した立位で足踏みが行える

基本的には上記項目を評価していき、問題点を探します。



2. 問題点抽出

移乗に介助が必要なご利用者様で最も原因として多い問題点は『4. **立ち上がり動作**』です。理由としては**前傾姿勢**が上手く行えず、立ち上がり動作が困難な方が多いためです。今回は「前傾姿勢」についてご紹介させていただきます。



日頃から重心が後方



体がなかなか前に倒れない



3. 目標設定

問題点が抽出できたら身体状況や疾患、ニーズなど複合的観点から目標設定を行います。

【3か月で達成を目指すものを**短期目標**】

【6か月で達成を目指すものを**長期目標**】

例) 移乗が目標

短期目標: 前傾姿勢ができ、立ち上がりがスムーズに行える

長期目標: 1人で移乗動作が安全に行える



4. 施設での取り組み



体をしっかりと前に倒して下さい！

施設内での移乗場面を自立支援

目標に向けて様々なアプローチを行っています。
移乗が行える事で、寝たきりになるリスクも減少でき、身体機能低下の予防にも繋がります。

また、移乗が行える事によって、**外出して景色を見たり、季節の変化を肌で感じたり**することで、ご利用者の「**生きがい**」を見つけられるのではないのでしょうか。

もし担当ご利用者様やそのご家族様などでお困りの声がありましたら、是非ご相談下さい！